

生徒の経験値を高める“生きた学び”で たくましく時代を生き抜く土台をつくる

「知」「徳」「体」のバランスのとれた全人教育を目指す昭和学院中学校。自ら課題を探し、考え、解決していく資質・能力を育てるために、国立歴史民俗博物館とタイアップした調べ学習や部活動など、教室の外での学びにも力を入れている。

「学びに対する『当事者意識』を『調べ学習』で身につける」

「今の子どもたちに足りないのは、当事者意識ではないか」と、教務副部長の園家誠二教諭。学校で学んでいることはすべて、今、生きていること、そしてこれから生きることと直結している。例えば歴史。歴史を紐解けば戦争があり、現在も世界に深刻な紛争地域がある。けれども、テレビのニュースやインターネットでそれらの情報に接しても、リアリティを感じない。日本人が巻き込まれてもどこか他人事だ。

調べ学習を推進している同校では、中2の夏休み、社会科の授業



歴博の「屏風絵」からわかったことを発表する様子

で「祖父母などからの聞き取り調査レポート」という課題がある。2001年にスタートした企画で、

これまでに2千名弱の生徒が身内に聞き取り調査を行ってきた。「レポートが苦手な生徒も、せっかくならば話だから、ちゃんと書かなければという気持ちになるようです」と社会科の神山知徳教諭はいう。この課題の後、戦中・戦後の暮らしについて調べ学習を行うのだが、生徒たちは積極的に取り組み、「焼夷弾」「疎開」「配給」といった言葉に対する理解度も上がった。祖父母の戦争と昭和の記憶の延長線上に、生徒の“今”

の暮らしがある。それに気づいた時、生徒は歴史の当事者になれるのだ。

神山教諭はほかにもユニークな調べ学習に取り組んでいる。平成18年、19年に佐倉市にある国立歴史民俗博物館(歴博)を利用する実践学習協力校となったのをきっかけに、歴博の豊富な資料を使った調べ学習を実施している。例えば歴博が持つ日本現存最古の「洛外洛中屏風図」を対象に、そのレプリカとパソコンを



全国トップレベルのバスケット部

使って、戦国時代の京都の町に入り込むという中1、3学期の授業。12枚の絵で構成されている巨大な屏風には、四季折々の風景や風俗、大勢の人物が描かれ、さまざまなことが読み取れる。生徒は屏風から発見したこと、疑問に思ったことを書き取り、調べ学習を進める。ある生徒は一般の人ほどのような仕事をしているか興味を持ち、床屋や能楽師、猿回し、魚の行商などが描かれていることを調べた。修学旅行で訪れる京都の調べ学習は、京都に対する興味を湧かせ、旅先での学びを深めてくれる。

部活動も「生きた学び」
人生を生き抜く土台になる

「本校では図書館司書教諭や図書館員の協力も得て、各教科で調べ学習を推進しています。また、部活動も

自ら課題を探し、主体的に判断する力を養うのと同時に、強い意志と実行力を育てる場と考えています」と井上俊彦校長。

神山教諭が顧問を務める地域研究部では、中1から高3まで20名の部員が日帰りのフィールドワークを企画したり、夏休みに新潟の燕三条を訪れて地場産業の工場の見学や鍛冶道場の体験をしたりと活発な活動をしている。歴博の調べ学習でも、彼らがリーダーシップを発揮する。

運動部も盛んで、男女ハンドボールや女子バスケットボール部、新体操部などが、インターハイや選抜大会で輝かしい実績をあげている。「部に主体的に取り組んでいる生徒は時間の有効活用と気持ちの切り替えが上手く、大学受験においても夢を実現している生徒は多い」と園家教諭。

調べ学習や部活動は、生徒一人ひとりの経験値を高める「生きた学び」だ。そして、社会に出て活躍するようになったある日、それらの学びが自分の人生の土台になっているの気づくことだろう。



キャンパス風景

SCHOOL DATA

- 設立 1940年
- 併設校 昭和学院幼稚園、昭和学院小学校、昭和学院高等学校、昭和学院短期大学
- 生徒数 (1年)135人
- クラス編成 30~35人
- 男女比 男40% 女60%
- 授業時間 8:35~15:00 (土)~12:25

- 海外交流校 無
- 帰国生徒特別入試 有
- 中高6年間費用 約400万円
- 交通 本八幡駅(JR総武線、都営新宿線)徒歩約15分、京成八幡駅(京成本線)徒歩15分またはバス約5分、市川大野駅(JR武蔵野線)よりバス10分、東松戸駅(北総線)よりバス15分

- 大学合格実績(過去3年間) 東京工業、東京学芸、東京藝術、千葉、埼玉、茨城、山梨、琉球、千葉県立保健医療、慶應義塾、早稲田、上智、東京理科、学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政、昭和薬科、明治薬科、東京農業、東京電機、日本体育など